

DOLPHIN LM/LT

水封式真空ポンプ

LM 0100 A、LM 0180 A、LM 0270 A、LM 0530 A、LM 0800 A、

LT 0130 A、LT 0170 A、LT 0220 A、LT 0320 A、LT 0430 A、LT 0510 A、LT 0630 A、LT 0750 A

取扱説明書



目次

1	安全性	3
2	製品説明	4
2.1	動作原理	5
2.2	用途	5
2.3	始動制御	6
2.4	バリエーション	6
2.4.1	LMシリーズ	6
2.4.2	LTシリーズ	6
2.4.3	VLシステム	6
3	輸送	7
4	保管	8
4.1	短期間（3か月まで）	8
4.2	中期間（3か月～6か月）	8
4.3	長期間（6か月以上）	8
5	設置	9
5.1	設置条件	9
5.2	ライン/パイプの接続	9
5.2.1	吸気接続	10
5.2.2	排気接続	10
5.2.3	封液の接続	10
5.3	封液の設定	13
5.4	カップリングのフィッティング	14
5.5	ボルトの取付け	15
6	電氣的接続	16
6.1	制御ボックスまたは可変速ドライブ（VSD）なしで納入された機械	16
6.2	可変速ドライブ（オプション）付きで納入された機械	17
6.3	配線図 3相モーター	18
7	試運転	20
7.1	キャビテーション防止	20
8	メンテナンス	22
8.1	メンテナンススケジュール	23
9	オーバーホール	24
10	デコミッショニング	25
10.1	解体と廃棄	25
11	スペアパーツ	26
12	トラブルシューティング	28
13	テクニカルデータ	30
14	EU Declaration of Conformity	35
15	UK Declaration of Conformity	36

1 安全性

機械を操作する前に、本運用マニュアルをよく読み、理解してください。ご不明な点があれば、Buschの担当者にお問い合わせください。

使用前に本運用マニュアルをよく読み、今後参照できるように保管しておいてください。

本運用マニュアルは、お客様が製品に改変を加えない限り有効です。

この機械は、産業用途です。技術的なトレーニングを受けたスタッフのみが取り扱うようにしてください。

必ず、現地の法規制に従い、適切な個人防護具を着用してください。

この機械は、最新の方法に従って設計、製造されていますが、以下の章および「用途[→5]」章に記載するように、残存リスクが存在するおそれがあります。本書では、必要に応じて潜在的な危険を取り上げていきます。安全上の注意および警告メッセージには、以下の説明の通り、「危険」、「警告」、「注意」、「注記」および「メモ」のいずれかのキーワードでタグ付けされています。



危険

防げなかった場合、死亡または重傷につながる切迫した危険な状況を示します。



警告

防げなかった場合、死亡または重傷につながるおそれのある危険と思われる状況を示します。



注意

防げなかった場合、軽微な怪我につながるおそれのある危険と思われる状況を示します。



注記

防げなかった場合、設備の損傷につながるおそれのある危険と思われる状況を示します。



メモ

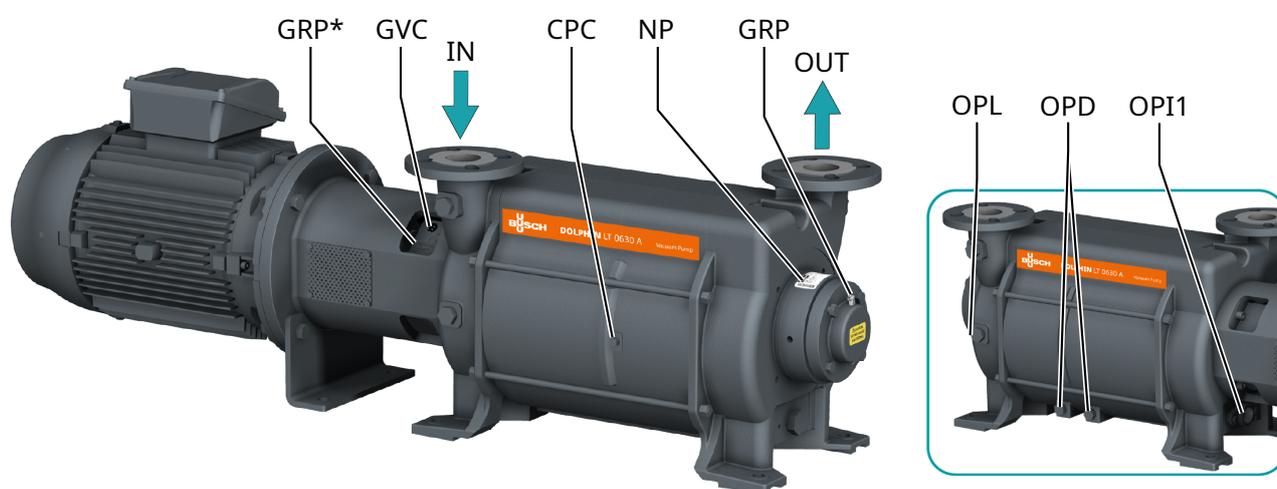
有益なヒントや推奨事項、ならびに効率的でトラブルのない運転のための情報を示します。

2 製品説明

DOLPHIN LM 0100-0800 A



DOLPHIN LT 0130-0750 A



説明

CPC	キャビテーション保護接続	IN	吸気接続
GRP*	グリースポイント	GVC	真空ゲージまたはリリーフバルブ接続
NP	銘板	OPD	封液ドレン
OPI	封液インレット	OPL	封液レベルプラグ
OUT	排気接続		

* GRPは、LM 0800 A、LT 0630 A、LT 0750 Aのみでご利用いただけます

** OPI2が必要なのはLM 0270 A、LM 0530 A、LM 0800 Aのみです

メモ

技術用語。

本書では、「機械」とは「真空ポンプ」を指すものとみなしています。

メモ

図

この運用マニュアルに掲載されている図は、実際の機械の外観とは異なる場合があります。

2.1 動作原理



この機械は、水封原理で動作します。

部分的に封液（通常は水）を満たしたハウジング内で、偏心して設置されたインペラーが回転します。インペラーブレードが液体に浸り、その回転で得られる遠心力によりハウジング内にいわゆるリキッドリングが形成されます。吸引されたガスは、ブレードとリキッドリングの間のスペースに取り込まれます。インペラーが偏心して回転することで、このスペースの量が変化し、気体の吸引、圧縮、排気が行われます。

2.2 用途



警告

この機械の用途外での予見可能な誤用があった場合。

怪我を負うリスクがあります。

機械が損傷するリスクがあります。

環境に対する危険のリスクがあります。

● 本書に書かれているすべての指示に従ってください。

この機械は、空気、ベーパーおよびその他の気体の吸引を意図したものです。

爆発性ガスおよびベーパー（銘板に「Ex(inside)」の標記がある場合）に関しては、ATEXの補遺を参照し、危険区域内での運転に関する追加の安全情報を確認してください。

その他の媒体を搬送すると機械に対する熱および/または機械的な負荷が高まるため、Buschにお問い合わせいただいた上で許可させていただいております。

この機械は、銘板に「Ex(outside)」の標記がある場合を除き、爆発危険性のない環境での設置を意図しています。当該標記のある場合の追加の安全情報については、ATEXの補遺を参照してください。

この機械は、到達真空度を維持することができます（参照：テクニカルデータ[→ 30]）。

機械は連続運転に適しています。

許された環境条件については、「テクニカルデータ[→30]」を参照してください。

2.3 始動制御

機械に始動制御類は付いていません。機械の制御類は、設置の際に取り付けてください。

2.4 バリエーション

2.4.1 LMシリーズ

DOLPHIN LMは、1段式真空ポンプで、大気圧から到達真空度130 hPa (mbar) までの範囲で動作します。

2.4.2 LTシリーズ

DOLPHIN LTは、2段式の真空ポンプで、大気圧から到達真空度33 hPa (mbar) までの範囲で動作します。

2.4.3 VLシステム

VLシステムは、LMまたはLTのDOLPHIN真空ポンプと封液供給システムで構成されます。

次の3種類のレイアウトをご利用いただけます。

- ワンパス冷却/回収なし。
- 部分循環システム（オープン回路）。
- 完全循環システム（クローズ回路）。

これらのすべての配置に、次の4つの基本要素が含まれます。

- 封液のソース（水道または容器から）。
- 液体の流れを制御する調整デバイス。
- （手動操作またはソレノイドバルブによる）機械の遮断時に流れを停止する手段。
- 気体と液体が混ざった排出物を分離し、不要な背圧が溜まるのを防ぐ手段。

機械にVLシステムが付属されている場合（銘板を参照）：

- VLシステムの操作手順に関する追加情報は、補遺を参照してください。

3 輸送



警告

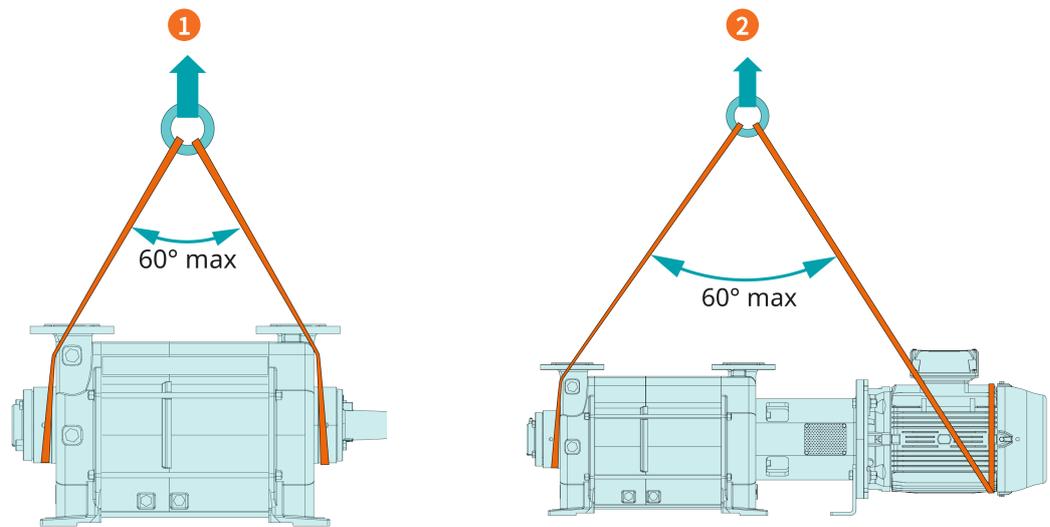
吊り荷。

重傷のリスクがあります。

● 吊り荷の下を歩行したり、立ち止まったり、吊り荷の下で作業したりしないでください。

● 機械の質量については、「テクニカルデータ[→ 30]」の章または銘板（NP）を参照してください。

● 適切なスリングを使用してください。



説明

1	DOLPHIN LMまたはLT、モーターなし (ベアシャフトポンプ)	2	DOLPHIN LMまたはLT、モーター付き
---	---------------------------------------	---	------------------------

● 輸送中の損傷がないか、機械をチェックしてください。

機械がベースプレートに固定されている場合：

● 機械をベースプレートから取り外します。

4 保管



注記

+5°C未満での保管

機械の損傷リスクがあります。

- 保管の前に機械およびシステムから封液をドレンしてください。
- あるいは、凍結防止溶液を添加します。

テスト後、BuschのDOLPHIN真空ポンプには通気とドレンが実施されています。鉄鋼材を含むポンプは、複合のVPI（気相インヒビター）と接触抑制オイル（Vaporol™または同等品）を1 m³に対して1リットルという推奨濃度で使用して保存されます。

4.1 短期間（3か月まで）

- すべての開口部を粘着テープまたは付属のキャップで密封します。

可能であれば：

- ホコリのない乾燥した室内で、可能であればなるべく+5～55°Cの温度範囲で、元々の梱包の中で保管します。

4.2 中期間（3か月～6か月）

- シャフトカップリングガードを取り外します（ベアシャフトの機械として提供されていない場合）。
- 機械のシャフトを1週間に1度手で回し、ベアリングにへこみや刻み目が付くのを防ぎます。
- 目安としてシャフトに一時的な印を付け、シャフトを元の位置から約90度ずらします。
- アライメントが正しくなるよう注意しながらカップリングガードを戻し、すべての留め具が元通りにしっかり締め付けられていることを確認します。

4.3 長期間（6か月以上）

機械が鋳鉄材で作られている場合：

- 機械の腐食を防ぐために、ポンプに保存液（「Shell Ensis Fluid」など）を充填します。
- シャフトカップリングガードを取り外します（ベアシャフトの機械として提供されていない場合）。
- 機械のシャフトを1週間に1度手で回し、ベアリングにへこみや刻み目が付くのを防ぎます。
- 目安としてシャフトに一時的な印を付け、シャフトを元の位置から約90度ずらします。
- 露出しているシャフトエンドとシャフトカップリングを保存用ワックスまたは濃いグリースでコーティングします。
- アライメントが正しくなるよう注意しながらカップリングガードを戻し、すべての留め具が元通りにしっかり締め付けられていることを確認します。

5 設置

5.1 設置条件



注記

許された設置条件外での機械の使用。

耐用年数経過前に不具合が生じるリスクがあります。

効率性が低下します。

● 必ず設置条件に準拠していることを確認してください。

● 機械の周辺環境に爆発の危険性がないことを確認してください。

銘板にEx(o)の標記がある場合：

- 追加の安全情報については、ATEXの補足情報を参照してください。
- 周囲条件がテクニカルデータ[→ 30]に準拠していることを確認してください。
- 環境条件がモーターおよび電気機器の保護クラスに準拠していることを確認してください。
- 設置スペースまたは設置場所が天候や落雷から保護されていることを確認してください。
- 機械を十分に冷却できるように設置スペースまたは場所が通気されていることを確認してください。
- モーターファンの冷却風のインレットとアウトレットが覆われたり阻害されていないこと、および冷却風の流れにその他何らかの方法による悪影響が及んでいないことを確認してください。
- メンテナンス作業のための十分なスペースが保たれていることを確認してください。
- 機械が平らな面に水平に配置または取り付けられていることを確認してください。
- 機械が封液システムに接続されていることを確認してください。「封液の接続[→ 10]」を参照してください。
- 付属のすべてのカバー、ガード、フードなどが取り付けられていることを確認してください。

モーターなしで納入された場合：

- カップリングが正しく取り付けられていることを確認してください（参照：カップリングのフィッティング[→ 14]）。

機械を標高1000メートル以上の場所に設置する場合：

- Buschの担当者にお問い合わせください。モーターの出力レベルが低下したり、周囲温度が制限される場合があります。

5.2 ラインパイプの接続

- 取り付け前にすべての保護カバーを外します。
- 必要に応じてフレキシブルジョイントを使用して、配管が機械の接続部にストレスを与えないようにしてください。
- 配管全体にわたる配管サイズが、機械の接続部以上の大きさであることを確認してください。

配管が非常に長い場合は、効率性の低下を防ぐために、大きめの配管サイズを使用することを推奨します。Buschの担当者にご相談ください。

5.2.1 吸気接続



注記

異物の混入

機械の損傷リスクがあります。

吸気ガスに異物の固体粒子が含まれている場合：

- 機械の上流に適切なインレットスクリーン（メッシュサイズが0.1 mm以下のもの）を取り付けます。

接続部サイズ：

- DN40 PN10（LM 0100-0270 AおよびLT 0130-0220 A用）
- DN50 PN10（LM 0530 AおよびLT 0320-0510 A用）
- DN65 PN10（LM 0800 AおよびLT 0630-0750 A用）

5.2.2 排気接続



注記

排気ガスの流れの詰まり。

機械の損傷リスクがあります。

- 排気ガスの流れを阻害するものがないことを確認してください。排気ラインを遮断したり、スロットルで調整したり、加圧空気源として使用したりしないでください。



注記

位置が高すぎるか気水分離が不十分。

背圧の原因となり、駆動モーターの過負荷が生じる場合があります。

- 液体が分離されるまでは、排出用配管を機械の排出フランジ（OUT）よりも600 mm以上高い位置にしないでください。

接続部サイズ：

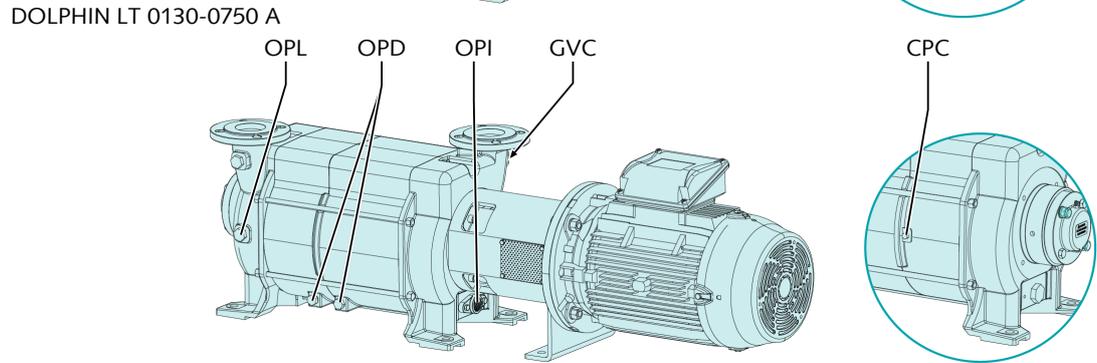
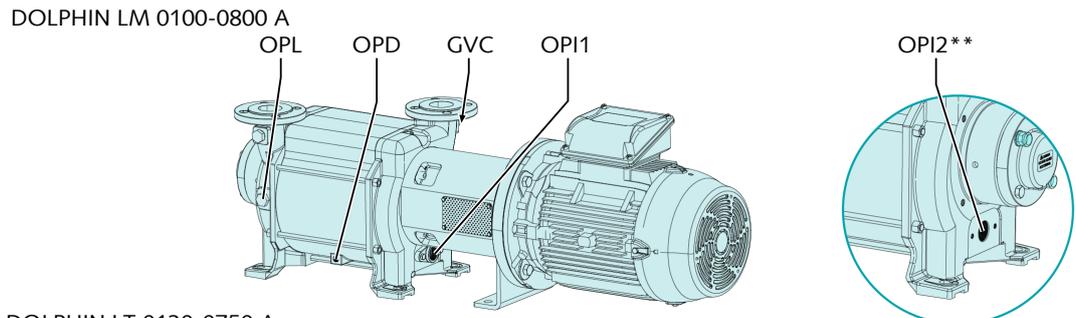
- DN40 PN10（LM 0100-0270 AおよびLT 0130-0220 A用）
- DN50 PN10（LM 0530 AおよびLT 0320-0510 A用）
- DN65 PN10（LM 0800 AおよびLT 0630-0750 A用）

5.2.3 封液の接続

この機械は、封液システムなしで運転することはできません。次の図は、一般的な設置の例です。実際と同梱物は、常に契約によって合意されたものとなります。

機械にVLシステムが付属されている場合（銘板を参照）：

- VLシステムの操作手順に関する追加情報は、補遺を参照してください。



説明			
CPC	キャビテーション保護接続	GVC	真空計またはリリーフバルブ接続
OPD	封液ドレン	OPI	封液インレット
OPL	封液レベルプラグ		

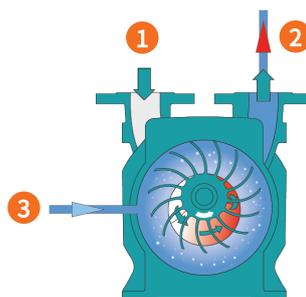
** OPI2が必要なのはLM 0270 A、LM 0530 A、LM 0800 Aのみです

接続部サイズ:

機械型式	OPI1	OPI2	OPD	OPL	CPC	GVC
LM 0100-0180 A	Rc 1/2	該当なし	Rc 1/8	Rc 1/4	該当なし	Rc 1/4
LM 0270 A	Rc 1/2	Rc 1/2	Rc 1/8	Rc 1/4	該当なし	Rc 1/4
LM 0530 A	Rc 1	Rc 1	Rc 1/4	Rc 3/4	該当なし	Rc 3/4
LM 0800 A	Rc 1	Rc 1	Rc 1/2	Rc 3/4	該当なし	Rc 3/4
LT 0130-0220 A	Rc 1/2	該当なし	2×Rc 1/8	Rc 1/4	Rc 1/8	Rc 1/4
LT 0320-0510 A	Rc 1	該当なし	2×Rc 1/4	Rc 3/4	Rc 1/4	Rc 3/4
LT 0630-0750 A	Rc 1	該当なし	2×Rc 1/2	Rc 3/4	Rc 1/4	Rc 3/4

● 封液が要件を満たしていることを確認してください（参照：封液の設定[→ 13]）。

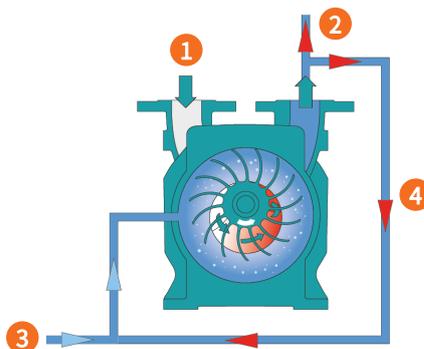
5.2.3.1 ワンパス運転/回収なし



説明			
1	吸気口 (IN)	2	排気口 (OUT)
3	封液インレット (OPI)		

ワンパスシステムでは、排出気体と共に排出される封液は回収されません。

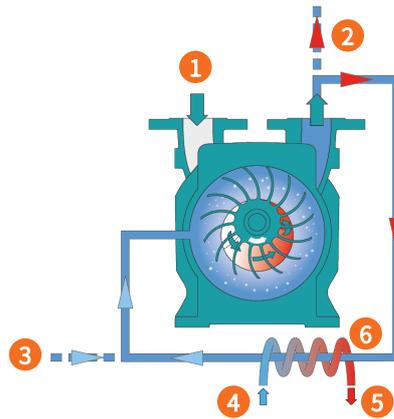
5.2.3.2 部分循環システム (オープン回路)



説明			
1	吸気口 (IN)	2	排気口 (OUT)
3	封液インレット (OPI)	4	封液の50%を回収

部分循環システムでは、封液の50%を回収し再循環させることで、封液の消費量を低減します。

5.2.3.3 完全循環システム (クローズ回路)



説明			
1	吸気口 (IN)	2	排気口 (OUT)
3	封液補充	4	冷却水入口 (CWI)
5	冷却水排水口 (CWO)	6	熱交換 (HE)

完全循環システムでは、封液をすべて回収し熱交換器で冷却します。

熱交換器を含む封液循環システムの推奨される最大の圧損は、機械側で150 hPa (mbar) です。

この構成は封液の完全再循環向けです。熱交換器は封液から圧縮、摩擦、凝縮で生じる熱を除去します。冷却された封液は機械に再循環します。300 hPa abs (300 mbar abs)を超える吸気圧で長時間稼働する場合、循環用ポンプの取付けを推奨します。吸気圧が400 hPa abs (400 mbar abs)を超える場合、あるいは運転サイクル中に吸気圧が変化する場合は、循環用ポンプの取付けが必須です。

5.3 封液の設定

封液と排気される流体の両方の状態は、圧力と温度という物理的な条件に左右されます。

圧力が非常に低く、温度が十分に高い場合、封液は部分的に気相となり、封液中に気泡が生じます。このプロセスは「キャビテーション」と呼ばれ、機械やその性能を劣化させる場合があります。「キャビテーション防止 [→ 20]」を参照してください。

推奨される封液の設定：

水道水の流量 (ワンパスシステムのみ)	m ³ /h	参照先： テクニカルデータ [→ 30]
流量調整バルブの前の水圧 (ワンパスシステムのみ)	bar	1
最大供給温度	°C	80
最大動粘度	mm ² /s	20 水以外を使用する場合のモーター容量については Busch にお問い合わせください。
最大粒径	mm	0.1*

* すべての動作システムに関し、プロセスガスと封液のいずれを介しても直径が0.1mmを超える粒子が機械に入り込まないようにしてください。必要に応じて適切なフィルターを使用します。

下表には、鋳鉄構造の機械での使用に推奨される水質を記載しています。数値は許容値を示します。

炭酸カルシウム	mg/ l (ppm)	< 300**
PH値		6.5~9.5
塩化物	mg/ l (ppm)	< 700
硫酸塩	mg/ l (ppm)	< 200
亜硝酸塩	mg/ l (ppm)	< 500***
溶解固形物合計	mg/ l (ppm)	< 1000

** スケールの過剰な堆積を防ぐため
*** 滞留した水への長期間にわたる暴露を想定しない場合



メモ

ステンレスバージョン。

ステンレス製の機械には高い腐食耐性があります。前述の範囲を超える運転、あるいは鋳鉄を腐食させることが明らかな用途には、ステンレスバージョンの使用が推奨されます。

5.4 カップリングのフィッティング



警告

保護されていないカップリング。

重傷のリスクがあります。

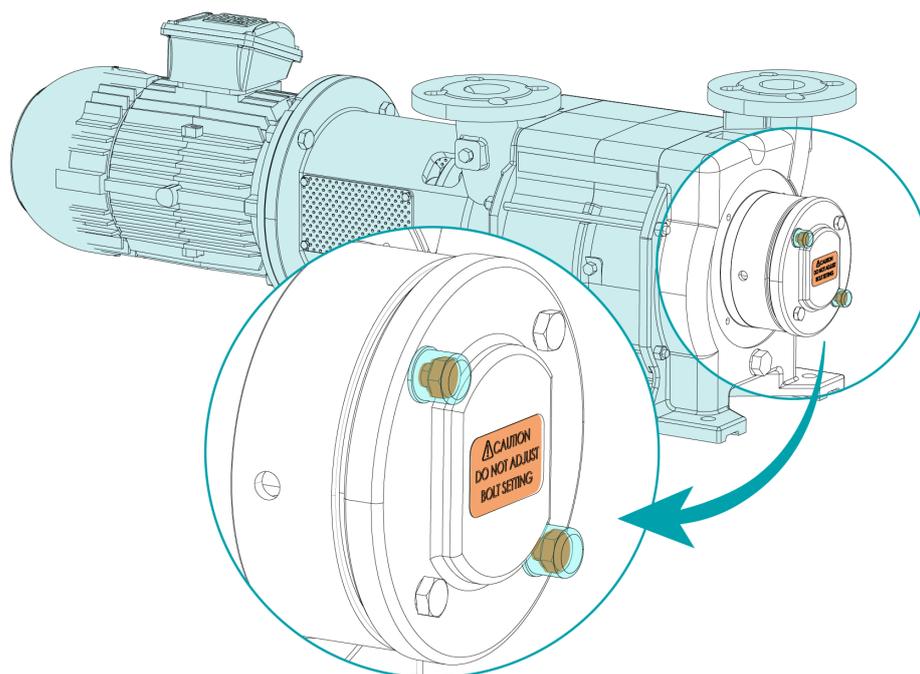
- カップリングがカバーまたはガードで保護されていることを確認してください。

モーターなしで納入された機械の場合:

- 機械とモーターシャフトのサイズに合った適切なカップリングを取り付けます。
- カップリングがフルモータートルクに耐えるサイズであることを確認してください。
- カップリングの取扱説明書に従い、カップリングが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 保護カバーかガードを取り付けます。

機械のタイプ	機械のシャフトサイズ (mm)
LM 0100-0270 A	28
LM 0530-0800 A	38
LT 0130-0220 A	28
LT 0320-0750 A	38

5.5 ボルトの取付け



反モーターサイドのベアリングキャップに取付けられたボルトの2本が、高さが一致しない構造になっています。これは当該機種では正常な状態です。ボルト頭部にはプラスチック製のキャップが取り付けられています。



注意

ボルト頭部にプラスチック製キャップ有。

機械損傷のリスクがあります！

- ボルトの締め付けを変更しないでください。変更するとシャフト位置がずれ機械が停止する恐れがあります。

6 電氣的接続



危険

活線。

感電のリスクがあります。

- 電氣的な設置作業は、有資格のスタッフのみが実行するようにしてください。

お客様による設置時の電流保護：



危険

電流保護の不備。

感電のリスクがあります。

- お客様による設置時には、必ずEN 60204-1に準拠した電流保護を行う必要があります。
- 電氣的設置は、適用される国内および国際規格に準拠する必要があります。



注記

電磁両立性

- 機械のモーターが主電源からの電氣的あるいは磁氣的妨害の影響を受けないことを確認し、必要に応じてBuschにご相談ください。
- 機械のEMCクラスがお客様の供給ネットワークシステムの要件に適合していることを確認し、必要に応じて追加の干渉抑制を行ってください（機械のEMCについては、「EU Declaration of Conformity [→35]」または「UK Declaration of Conformity [→36]」を参照してください）。

6.1 制御ボックスまたは可変速ドライブ (VSD) なしで納入された機械



危険

活線。

感電のリスクがあります。

- 電氣的な設置作業は、有資格のスタッフのみが実行するようにしてください。



メモ

可変速運転（例えば可変速ドライブやソフトスターターを使った運転）は、使用を認められたモーターで許容モーター回転数の範囲内において許可されます（「テクニカルデータ [→30]」を参照してください）。

Buschの担当者にご相談ください。

- モーターの電源がモーターの銘板上のデータに適合していることを確認してください。
- 機械に電源コネクタが装着されている場合は、絶縁に不具合があったときに備えて、人体保護のための残留電流保護装置を設置してください。
 - Buschは、電氣的設置に適したタイプBの残留電流保護装置を取り付けることを推奨しています。
- 非常時に機械の完全な安全が確保できるよう、電源配線にロック付きの切り離しスイッチまたは緊急停止スイッチを設置してください。
- メンテナンス作業中に機械の完全な安全が確保できるよう、電源配線にロック付きの切り離しスイッチを設置してください。
- EN 60204-1に従い、モーターに過負荷保護を提供してください。
- 保護アースコンダクターを接続します。
- モーターを電氣的に接続します。

注記

誤った接続。

モーターの損傷リスクがあります。

- 下記配線図は一般的なものです。モーター接続の手順/配線図については端子箱の内側を確認してください。

6.2

可変速ドライブ (オプション) 付きで納入された機械

- 機械に電源コネクタが装着されている場合は、絶縁に不具合があったときに備えて、人体保護のための残留電流保護装置を設置してください。
 - Buschは、電氣的設置に適したタイプBの残留電流保護装置を取り付けることを推奨しています。
- 可変速ドライブにロック付きの切り離しスイッチが付いていない場合は、メンテナンス作業中に機械を確実に停止できるよう、電源配線にロック付きの切り離しスイッチを設置してください。
- EN 60204-1に従い、過負荷保護を装備してください。
- 保護アースコンダクターを接続します。

注記

誤った接続。

可変速ドライブの損傷リスクがあります。

- 下記配線図は一般的なものです。接続の手順/配線図を確認してください。

6.3 配線図 3相モーター

！ 注記

回転方向が誤っています。

機械の損傷リスクがあります。

- 誤った回転方向で運転すると、短時間で機械が破損する場合があります。スタートアップの前に機械が正しい方向で動作することを確認してください。

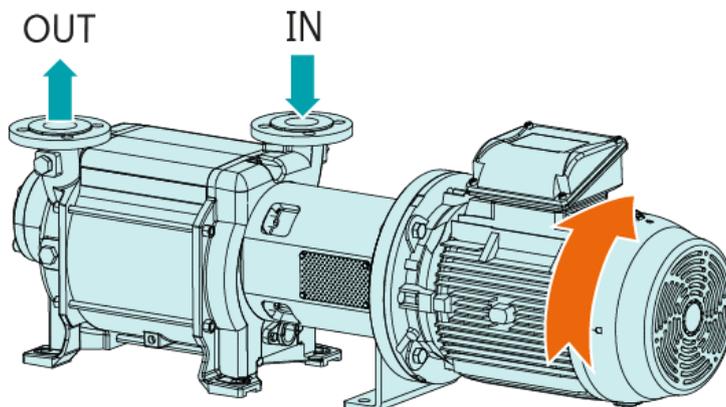
！ 注記

回転方向が誤っています。

真空システムの損傷リスクがあります。

- 誤った回転方向で真空ポンプを運転すると、封液が逆流し真空システムに流入する場合があります。起動の前に、正しい回転方向をチェックしてください。

モーターの意図された回転方向は、下図の通り定められています。

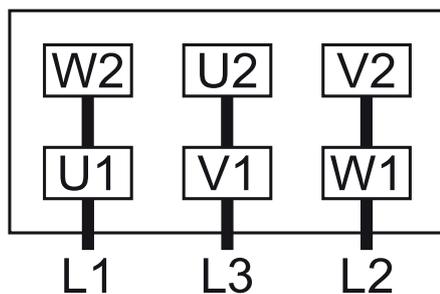


- ファンホイールが停止する直前にモーターのファンホイールを観察し、回転方法を確認してください。

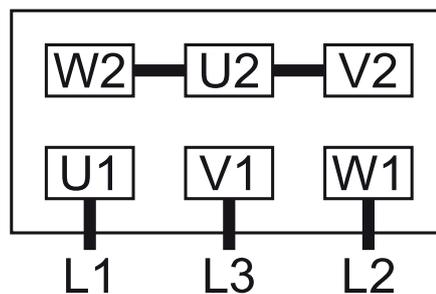
モーターの回転を変更しなければならない場合：

- モーターの配線のいずれか2つを入れ換えます。

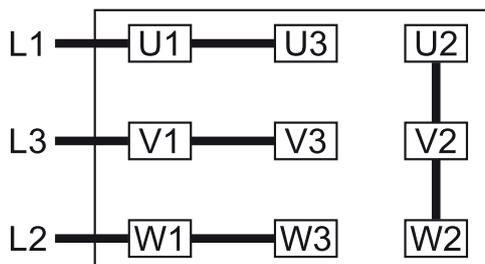
デルタ接続 (低電圧):



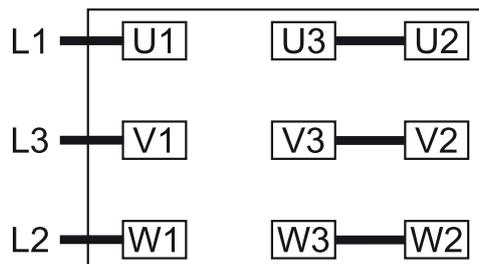
スター接続 (高電圧):



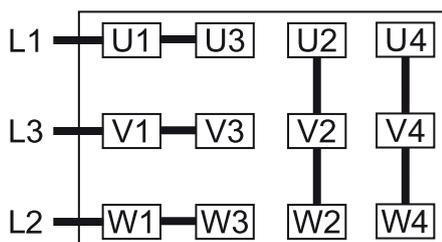
二重スター接続、9端子のマルチボルテージモーター (低電圧):



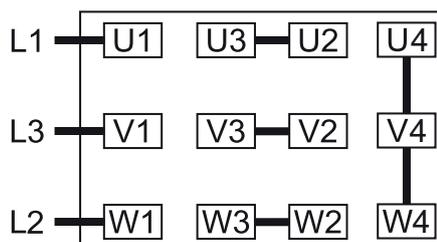
スター接続、9端子のマルチボルテージモーター (高電圧):



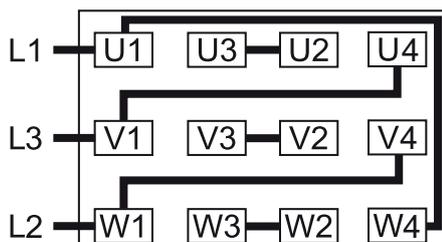
二重スター接続、12端子のマルチボルテージモーター (低電圧):



スター接続、12端子のマルチボルテージモーター (高電圧):



デルタ接続、12端子のマルチボルテージモーター (中電圧):



7 試運転



注意

運転中は機械の表面が70°C以上に達する場合があります。

火傷のリスクがあります。

- 運転中と運転直後には機械に触らないでください。



注記

機械を封液システムなしで運転した場合。

機械が短時間で破損します。

- 試運転の前に封液システムを接続し、封液の供給準備を整えておく必要があります。

- 設置条件（「設置条件[→9]」を参照）を満たしていることを確認してください。

機械を運転する前に：

- 封液のレベルが機械のシャフトの中央であることを確認してください。
- 起動前にすべての自動バルブが作動していることをチェックしてください。
- 機械のスイッチを入れます。
- 1時間あたりの許容始動回数上限の12回を超えないよう注意してください。この始動回数は、1時間の中で分散させる必要があります。

数秒間の運転後：

- 封液システムを起動します。
- 運転条件がテクニカルデータ[→30]に準拠していることを確認してください。

通常の運転条件下で機械を動かしたらすぐに：

- 今後のメンテナンスおよびトラブルシューティング作業のためにモーター電流を測定し、記録しておきます。

7.1 キャビテーション防止



注記

キャビテーション。

真空ポンプの損傷リスクがあります。

パチパチというノイズが聞こえる場合：

- 圧力を制御します。

圧力が非常に低く、温度が十分に高い場合、封液は部分的に気相となり、封液中に気泡が生じます。アウトレットスロットに向かうに連れ圧力が上昇し、気泡が崩壊します。このプロセスはキャビテーションと呼ばれます。

表面に気泡が存在すると、封液は気泡によってできた空洞に侵入することができません。そのため流入する封液は高速で表面に衝突することになります。これによりエロージョンが生じ、機械が急速に劣化する原因となります。気泡が形成されると、ポンプの性能も低下します。キャビテーションはパチパチというノイズを明瞭に聞き取ることができます。

したがって、真空ポンプの運転圧力が封液の蒸気圧を十分に上回るようにする必要があります。特に、真空システムの圧力を、吸気ラインのバルブで調整することはできません。

封液の蒸気圧や到達圧は、封液を冷却することで下げることができますが、この場合、冷却水を多量に使うこととなります。多くの場合、到達圧力を要求されることはないので、冷却よりも運転圧を見直してキャビテーションを回避すべきです。

8 メンテナンス



危険

活線。

感電のリスクがあります。

- 電気的な設置作業は、有資格のスタッフのみが実行するようにしてください。



警告



危険物質に汚染された機械。

中毒のリスクがあります。

感染のリスクがあります。

機械が危険物質に汚染された場合：

- 適切な個人防護具を着用してください。



注意

高温の表面。

火傷のリスクがあります。

- 機械に触れる必要がある操作を行う前に、機械を冷ましてください。

- 機械をシャットダウンし、不用意に始動しないようロックします。

- 封液システムを停止します。

- 接続されたラインを大気圧で通気します。

必要に応じて：

1. 封液をドレンします
2. すべての接続部を切り離します

8.1 メンテナンススケジュール

メンテナンス間隔は、個々の運転条件に大きく左右されます。下記に示されている間隔を基準点としてとらえ、適宜短縮したり延長したりしてください。特に、環境やプロセスガス中に粉塵が多い場合や、その他の汚染物質やプロセス材の侵入がある場合など、過酷な運転条件の場合は、メンテナンス間隔を大幅に短縮しなければならない場合があります。

間隔	メンテナンス作業
毎月	<ul style="list-style-type: none"> ● 異音がないかチェックします（参照：トラブルシューティング [→ 28]）。 ● 過剰な振動がないかチェックします。運転条件を参照してください。 ● 封液温度をチェックします（参照：封液の接続 [→ 10]）。 ● 機械に液体の漏れがないかチェックします。漏れがある場合は、機械を修理してください（Buschにお問い合わせください）。
1000運転時間ごと*	<ul style="list-style-type: none"> ● ベアリング再度グリースを注入します（リチウムベースのグリースNLGIクラス2を各ベアリングに15g追加します）。
毎年	<ul style="list-style-type: none"> ● ホコリや汚れがないか、機械を目視点検します。ポンプのラベルや塗装を損傷するような清掃用品を使用しないでください。 <p>インレットスクリーンを設置している場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チェックし、必要に応じて清掃します。
5年ごと	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模なオーバーホールを行います（Buschにお問い合わせください）。

* DOLPHIN LM 0800 A、LT 0630-0750 Aの場合のみ。小型のDOLPHIN LM/LTは、自己潤滑型のベアリングを使用しています。

9 オーバーホール



警告



危険物質に汚染された機械。

中毒のリスクがあります。

感染のリスクがあります。

機械が危険物質に汚染された場合：

- 適切な個人防護具を着用してください。



注記

不適切な組み立て。

耐用年数経過前に不具合が生じるリスクがあります。

効率性が低下します。

- 本書に記載されている内容以外の機械の分解は、Busch認定の技師が実施する必要があります。

健康に有害な異物で汚染されたガスを移送した機械の場合：

- できる限り機械を除染し、「汚染申告」に汚染の状況を明記します。

Buschが受け入れるのは、漏れなく記入され、法的拘束力のある署名がなされた「汚染申告」が貼付された機械のみとさせていただきます（フォームは、www.buschvacuum.comよりダウンロードできます）。

10 デコミッショニング



危険

活線。

感電のリスクがあります。

- 電気的な設置作業は、有資格のスタッフのみが実行するようにしてください。



注意

高温の表面。

火傷のリスクがあります。

- 機械に触れる必要がある操作を行う前に、機械を冷ましてください。

- 機械をシャットダウンし、不用意に始動しないようロックします。
- 電源を切り離します。
- 接続されたラインを大気圧で通気します。
- すべての接続部を切り離します。

機械を保管する場合：

- 「保管」を参照してください。

10.1 解体と廃棄

- 特殊廃棄物を機械から分別します。
- 適用される規制に従って特殊廃棄物を廃棄します。
- 機械はスクラップ金属として廃棄します。

11 スペアパーツ



注記

Busch以外の純正スペアパーツの使用。

耐用年数経過前に不具合が生じるリスクがあります。

効率性が低下します。

- 機械の適切な機能および保証の有効化のために、Buschの純正スペアパーツおよび消耗品のみをご使用いただくことを推奨します。

スペアパーツキット	説明	部品番号
サービスキットの対象： LM 0100 A LM 0180 A LM 0270 A LT 0130 A LT 0170 A LT 0220 A	標準用途向け 2×ボールベアリング 2×Oリング (Viton) 2×メカニカルシール 1×ロックナットM30	0993 700 057
サービスキットの対象： LM 0100 A LM 0180 A LM 0270 A LT 0130 A LT 0170 A LT 0220 A	化学用途向け 2×ボールベアリング 2×Oリング (PTFE/Viton) 2×メカニカルシール (Chemraz [®]) 1×ロックナットM30	0993 700 058
サービスキットの対象： LM 0530 A	標準用途向け 2×ボールベアリング 2×Oリング (Viton) 1×フラットシールワッシャー (ニトリル) 2×メカニカルシール 1×ロックナットM40	0993 700 078
サービスキットの対象： LT 0320 A LT 0430 A LT 0510 A	標準用途向け 2×ボールベアリング 2×Oリング (Viton) 1×フラットシールワッシャー (ニトリル) 2×メカニカルシール 1×ロックナットM40	0993 700 059
サービスキットの対象： LM 0530 A	化学用途向け 2×ボールベアリング 2×Oリング (PTFE/Viton) 1×フラットシールワッシャー (PTFE) 2×メカニカルシール (Chemraz [®]) 1×ロックナットM40	0993 700 079
サービスキットの対象： LT 0320 A LT 0430 A LT 0510 A	化学用途向け 2×ボールベアリング 2×Oリング (PTFE/Viton) 1×フラットシールワッシャー (PTFE) 2×メカニカルシール (Chemraz [®]) 1×ロックナットM40	0993 700 060

スペアパーツキット	説明	部品番号
サービスキットの対象： LM 0800 A LT 0630 A LT 0750 A	標準用途向け 1×球面ころ軸受 1×アダプタースリーブ付き球面ころ軸受 2×Oリング (Viton) 1×フラットシールワッシャー (ニトリル) 2×メカニカルシール 1×ロックナットM45 3×オイルシール	0993 700 061
サービスキットの対象： LM 0800 A LT 0630 A LT 0750 A	化学用途向け 1×球面ころ軸受 1×アダプタースリーブ付き球面ころ軸受 2×Oリング (PTFE/Viton) 1×フラットシールワッシャー (PTFE) 2×メカニカルシール (Chemraz®) 1×ロックナットM45 3×オイルシール	0993 700 062

その他の部品が必要な場合：

- Buschの担当者にお問い合わせください。

12 トラブルシューティング

問題	考えられる原因	改善策
機械が始動しない。	モーターに正しい電圧が供給されていません。	● 電源をチェックしてください。
	ローターとハウジングの間が腐食しています。	● 防食剤を使用して腐食を除去します。 ● 機械を修理してください（ブッシュにお問い合わせください）。
	固形の異物が機械に侵入しています。	● 固形の異物を取り除くか、機械を修理してください（ブッシュにお問い合わせください）。 ● 必要に応じてインレットスクリーンを設置してください。
	機械の内部に氷があります。封液が凍結しています。	● 機械を慎重に暖機運転してください。 ● 封液を解凍します。
	モーターが故障しています。	● モーターを交換してください。
吸気口部で正常な圧力に到達しない。	吸気または排気ラインが長すぎるか、配管口径が小さすぎます。	● 配管の口径を大きくするか、短くしてください。 ● 最寄りのBuschの担当者にご相談ください。
	封液の温度が高すぎるか、封液が不足しています。 (特性曲線は、封液として15°Cの水を使用した場合のものです。温度がこれより高くなると、達成される圧力と排気量が低下します)	● 封液の温度を下げるか、封液の流量を調整してください。
	メカニカルシールが漏れています。	● 真空ポンプを修理してください（Buschにお問い合わせください）。
	吸気ライン、排気ラインが部分的に目詰まりしています。	● 詰まりを取り除きます。
	インレットスクリーンを設置している場合は、部分的な目詰まりの可能性があります。	● インレットスクリーンを清掃してください。
	内部部品が摩耗しているか損傷しています。	● 真空ポンプを修理してください（Buschにお問い合わせください）。

問題	考えられる原因	改善策
機械の運転時の騒音がひどい、あるいはガタつきがある。	封液の液位が高すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 調整バルブを使用し、ポンプを中央のラインまでドレンしてください。
	封液の密度または粘度が高すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 封液の設定 [→ 13] をチェックします。 ● 別の封液を使うか、またはより強力な駆動モーターを使用してください。
	機械が誤った方向に回転する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転方向をチェックしてください（参照：配線図 3相モーター [→ 18]）。
	ベアリングに不具合があります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械を修理してください（Busch お問い合わせください）。
	真空ポンプにキャビテーション（封液で気泡発生と崩壊が繰り返されること）が発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「キャビテーション防止 [→ 20]」の章を参照してください。 ● 冷却液の流量を調整し、封液の温度を下げます。
	カップリングエレメントが摩耗しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● カップリングをチェックし、必要に応じて修理してください。
真空ポンプが運転時に高温になりすぎる。	通気が不十分です。	<ul style="list-style-type: none"> ● ホコリや汚れによって機械の冷却が妨げられていないことを確認してください。 ● モーターのファンハウリング、ファン、通気グリル、冷却フィンを清掃してください。
	周囲温度が高すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 許容周囲温度を順守してください（参照：テクニカルデータ [→ 30]）。
	プロセスガスの吸気温度が高すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 許容ガス吸気温度を順守してください（参照：テクニカルデータ [→ 30]）。
	吸気ガス量が不十分です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な不活性ガスまたは空気をアンチキャビテーション接続から注入してください。
	吸気ライン、排気ラインが部分的に目詰まりしています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 詰まりを取り除きます。

13 テクニカルデータ

		LM 0100 A	LM 0180 A	LM 0270 A
排気速度 (50Hz / 60Hz)	m ³ /h	82 / 98	144 / 180	220 / 267
到達真空度 (50Hz / 60Hz)	hPa (mbar)) abs.	130 / 130		
最大加圧 (50Hz / 60Hz)	bar(g)	0.8 / 0.8	1.5 / 1.5	1.5 / 1.5
モーター定格出力IEC (50Hz / 60Hz)	kW	2.2 / 3.0	4.0 / 5.5	5.5 / 7.5
モーター定格回転数 (50Hz / 60Hz)	min ⁻¹	1450 / 1750		
許容モーター回転数範囲	min ⁻¹	1000 ... 1750 (~34 ... 60 Hz)		
騒音値 (EN ISO 2151) (50Hz / 60Hz)	dB(A)	≤70 / ≤71		
振動速度 - フィルターなし (RMS)	mm/s (インチ/s)	≤4.0 (≤0.16)		
最大許容ガスインレット温度	°C	乾燥ガス ▶ 120		
		飽和ガス ▶ 100		
周囲温度範囲	°C	5 ... 40		
相対湿度	30 °C基準	90%		
周囲圧力		大気圧		
封液の要件 (ワンパス運転のみ)	m ³ /h	130	130	130
		hPa (mbar)	hPa (mbar)	hPa (mbar)
		▶ 0.8	▶ 0.8	▶ 1.8
		400	400	400
		hPa (mbar)	hPa (mbar)	hPa (mbar)
		▶ 0.7	▶ 0.7	▶ 1.6
800	800	800		
hPa (mbar)	hPa (mbar)	hPa (mbar)		
▶ 0.4	▶ 0.4	▶ 0.7		
モーターなしの重量 (ベアシャフトの機械) 鋳鉄/ステンレス鋼	kg	56 / 59	63 / 67	68 / 72
モーター付きの重量 50 Hz ヨーロッパのモーター/50 & 60 Hz マルチ電圧	kg	110 / 124	122 / 151	157 / 166

		LM 0530 A	LM 0800 A
排気速度 (50Hz / 60Hz)	m ³ /h	440 / 556	722 / 867
到達真空度 (50Hz / 60Hz)	hPa (mbar)) abs.	130 / 130	
最大加圧 (50Hz / 60Hz)	bar(g)	1.5 / 1.5	1.5 / 1.5
モーター定格出力 (50Hz / 60Hz)	kW	11.0 / 15.0	18.5 / 22.0
モーター定格回転数 (50Hz / 60Hz)	min ⁻¹	1450 / 1750	
許容モーター回転数範囲	min ⁻¹	1000 ... 1750 (~34 ... 60 Hz)	
騒音値 (EN ISO 2151) (50Hz / 60Hz)	dB(A)	≤72 / ≤73	≤75 / ≤76
振動速度 - フィルターなし (RMS)	mm/s (インチ/s)	≤4.0 (≤0.16)	
最大許容ガスインレット温度	°C	乾燥ガス ▶ 120	
		飽和ガス ▶ 100	
周囲温度範囲	°C	5 ... 40	
相対湿度	30 °C基準	90%	
周囲圧力		大気圧	
封液の要件 (ワンパス運転のみ)	m ³ /h	130 hPa (mbar) ▶ 2.8 400 hPa (mbar) ▶ 2.0 800 hPa (mbar) ▶ 1.6	130 hPa (mbar) ▶ 4.0 400 hPa (mbar) ▶ 3.4 800 hPa (mbar) ▶ 2.0
モーターなしの重量 (ベアシャフトの 機械) 鋳鉄/ステンレス鋼	kg	164 / 174	178 / 189
モーター付きの重量 50 Hz ヨーロッパのモーター/50 & 60 Hz マルチ電圧	kg	317 / 337	340 / 357

		LT 0130 A	LT 0170 A	LT 0220 A
排気速度 (50Hz / 60Hz)	m ³ /h	105 / 128	144 / 165	203 / 232
到達真空度 (50Hz / 60Hz)	hPa (mbar)) abs.	33 / 33		
最大加圧 (50Hz / 60Hz)	bar(g)	1.5 / 1.5	1.5 / 1.5	1.2 / 1.2
モーター定格出力 (50Hz / 60Hz)	kW	3.0 / 4.0	4.0 / 5.5	5.5 / 7.5
モーター定格回転数 (50Hz / 60Hz)	min ⁻¹	1450 / 1750		
許容モーター回転数範囲	min ⁻¹	1000 ... 1750 (~34 ... 60 Hz)		
騒音値 (EN ISO 2151) (50Hz / 60Hz)	dB(A)	≤70 / ≤71		
振動速度 - フィルターなし (RMS)	mm/s (インチ/s)	≤4.0 (≤0.16)		
最大許容ガスインレット温度	°C	乾燥ガス ▶ 120		
		飽和ガス ▶ 100		
周囲温度範囲	°C	5 ... 40		
相対湿度	30 °C基準	90%		
周囲圧力		大気圧		
封液の要件 (ワンパス運転のみ)	m ³ /h	33	33	33
		hPa (mbar)	hPa (mbar)	hPa (mbar)
		▶ 1.0	▶ 1.0	▶ 1.4
		400	400	400
		hPa (mbar)	hPa (mbar)	hPa (mbar)
		▶ 0.8	▶ 0.8	▶ 1.1
800	800	800		
hPa (mbar)	hPa (mbar)	hPa (mbar)		
▶ 0.7	▶ 0.7	▶ 0.9		
モーターなしの重量 (ベアシャフトの機械) 鋳鉄/ステンレス鋼	kg	73.5 / 78	77 / 82	86 / 91
モーター付きの重量 50 Hz ヨーロッパのモーター/50 & 60 Hz マルチ電圧	kg	139 / 153	149 / 178	188 / 197

		LT 0320 A	LT 0430 A	LT 0510 A
排気速度 (50Hz / 60Hz)	m ³ /h	265 / 320	361 / 426	430 / 510
到達真空度 (50Hz / 60Hz)	hPa (mbar)) abs.	33 / 33		
最大加圧 (50Hz / 60Hz)	bar(g)	1.5 / 1.5	1.5 / 1.3	1.1 / 1.1
モーター定格出力 (50Hz / 60Hz)	kW	7.5 / 11.0	11.0 / 15.0	11.0 / 15.0
モーター定格回転数 (50Hz / 60Hz)	min ⁻¹	1450 / 1750		
許容モーター回転数範囲	min ⁻¹	1000 ... 1750 (~34 ... 60 Hz)		
騒音値 (EN ISO 2151) (50Hz / 60Hz)	dB(A)	≤72 / ≤73		
振動速度 - フィルターなし (RMS)	mm/s (インチ/s)	≤4.0 (≤0.16)		
最大許容ガスインレット温度	°C	乾燥ガス ▶ 120		
		飽和ガス ▶ 100		
周囲温度範囲	°C	5 ... 40		
相対湿度	30 °C基準	90%		
周囲圧力		大気圧		
封液の要件 (ワンパス運転のみ)	m ³ /h	33 hPa (mbar) ▶ 3.0	33 hPa (mbar) ▶ 3.0	33 hPa (mbar) ▶ 3.0
		400 hPa (mbar) ▶ 1.3	400 hPa (mbar) ▶ 1.6	400 hPa (mbar) ▶ 2.1
		800 hPa (mbar) ▶ 0.8	800 hPa (mbar) ▶ 1.0	800 hPa (mbar) ▶ 1.1
モーターなしの重量 (ベアシャフトの機械) 鋳鉄/ステンレス鋼	kg	144 / 153	154 / 163	184 / 195
モーター付きの重量 50 Hz ヨーロッパのモーター/50 & 60 Hz マルチ電圧	kg	242 / 299	294 / 314	324 / 344

		LT 0630 A	LT 0750 A
排気速度 (50Hz / 60Hz)	m ³ /h	500 / 578	617 / 710
到達真空度 (50Hz / 60Hz)	hPa (mbar)) abs.	33 / 33	
最大加圧 (50Hz / 60Hz)	bar(g)	2.0 / 2.0	2.0 / 2.0
モーター定格出力 (50Hz / 60Hz)	kW	15 / 22	18.5 / 30
モーター定格回転数 (50Hz / 60Hz)	min ⁻¹	1450 / 1750	
許容モーター回転数範囲	min ⁻¹	1000 ... 1750 (~34 ... 60 Hz)	
騒音値 (EN ISO 2151) (50Hz / 60Hz)	dB(A)	≤75 / ≤76	
振動速度 - フィルターなし (RMS)	mm/s (インチ/s)	≤4.0 (≤0.16)	
最大許容ガスインレット温度	°C	乾燥ガス ▶ 120	
		飽和ガス ▶ 100	
周囲温度範囲	°C	5 ... 40	
相対湿度	30 °C基準	90%	
周囲圧力		大気圧	
封液の要件 (ワンパス運転のみ)	m ³ /h	33 hPa (mbar) ▶ 3.0 400 hPa (mbar) ▶ 1.8 800 hPa (mbar) ▶ 1.4	33 hPa (mbar) ▶ 3.0 400 hPa (mbar) ▶ 1.6 800 hPa (mbar) ▶ 1.3
モーターなしの重量 (ベアシャフトの 機械) 鋳鉄/ステンレス鋼	kg	207 / 219	223 / 236
モーター付きの重量 50 Hz ヨーロッパのモーター/50 & 60 Hz マルチ電圧	kg	389 / 439	430 / 447

14 EU Declaration of Conformity

本適合宣言書および銘板に貼付されているCEマークは、Buschの納入品目の機械に限り有効です。本適合宣言は、製造者の単独の責任のもと発行されています。

この機械を上位の機械類と統合する場合、上位の機械類のメーカー（運用会社を兼ねている場合もあり）は、上位機械または装置の適合性評価プロセスを実行し、その適合宣言書を発行してCEマークを貼付しなければなりません。

製造者 **Busch GVT Ltd.**
Westmere Drive, Crewe Business Park
Crewe, Cheshire, CW1 6ZD
United Kingdom

対象の機械： DOLPHIN LM 0100 A; DOLPHIN LM 0180 A; DOLPHIN LM 0270 A; DOLPHIN LM 0530 A; DOLPHIN LM 0800 A; DOLPHIN LT 0130 A; DOLPHIN LT 0170 A; DOLPHIN LT 0220 A; DOLPHIN LT 0320 A; DOLPHIN LT 0430 A; DOLPHIN LT 0510 A; DOLPHIN LT 0630 A; DOLPHIN LT 0750 A

は、EU指令の該当条項すべてに適合します。

- 「Machinery」 2006/42/EC
- 「Electromagnetic Compatibility」 (EMS) 2014/30/EU
- 「RoHS」 2011/65/EU Restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment（関連するすべての適用改正を含む）

また、これらの条項への適合に使用された以下の指定規格に準拠しています。

規格	規格名
EN ISO 12100 : 2010	Safety of machinery - Basic concepts, general principles of design
EN ISO 13857 : 2019	Safety of machinery - Safety distances to prevent hazard zones being reached by the upper and lower limbs
EN 1012-2 : 1996 + A1 : 2009	Vacuum pumps - Safety requirements - Part 2
EN ISO 2151 : 2008	Acoustics - Noise test code for compressors and vacuum pumps - Engineering method (grade 2)
EN 60204-1 : 2018	Safety of machinery - Electrical equipment of machines - Part 1: General requirements
EN IEC 61000-6-2 : 2019	Electromagnetic compatibility (EMC) - Generic standards. Immunity for industrial environments
EN IEC 61000-6-4 : 2019	Electromagnetic compatibility (EMC) - Generic standards. Emission standard for industrial environments
ISO 21940-1 : 2019	機械振動 - ローターのバランシング

技術資料の作成を許可された法人
 およびEUにおける正式な代理人
 （製造者がEUに所在しない場合）：

Busch Dienste GmbH
 Schauinslandstr. 1
 DE-79689 Maulburg

Crewe, 16.04.2021



ゼネラルディレクター、Tracey Sellars

15 UK Declaration of Conformity

本適合宣言書および銘板に貼付されているUKCAマークは、Buschの納入品目の機械に限り有効です。本適合宣言は、製造者の単独の責任のもと発行されています。

この機械を上位の機械類と統合する場合、上位の機械類のメーカー（運用会社を兼ねている場合もあり）は、上位機械または装置の適合性評価プロセスを実行し、その適合宣言書を発行してUKCAマークを貼付しなければなりません。

製造者 **Busch GVT Ltd.**
Westmere Drive, Crewe Business Park
Crewe, Cheshire, CW1 6ZD
United Kingdom

対象の機械：DOLPHIN LM 0100 A; DOLPHIN LM 0180 A; DOLPHIN LM 0270 A; DOLPHIN LM 0530 A; DOLPHIN LM 0800 A; DOLPHIN LT 0130 A; DOLPHIN LT 0170 A; DOLPHIN LT 0220 A; DOLPHIN LT 0320 A; DOLPHIN LT 0430 A; DOLPHIN LT 0510 A; DOLPHIN LT 0630 A; DOLPHIN LT 0750 A

は、英国の法律の該当条項すべてに適合します：

- Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008
- Electromagnetic Compatibility Regulations 2016
- Restriction of the use of certain hazardous substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2021

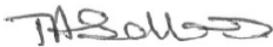
また、これらの条項への適合に使用された以下の指定規格に準拠しています。

規格	規格名
EN ISO 12100 : 2010	Safety of machinery - Basic concepts, general principles of design
EN ISO 13857 : 2019	Safety of machinery - Safety distances to prevent hazard zones being reached by the upper and lower limbs
EN 1012-2 : 1996 + A1 : 2009	Vacuum pumps - Safety requirements - Part 2
EN ISO 2151 : 2008	Acoustics - Noise test code for compressors and vacuum pumps - Engineering method (grade 2)
EN 60204-1 : 2018	Safety of machinery - Electrical equipment of machines - Part 1: General requirements
EN IEC 61000-6-2 : 2019	Electromagnetic compatibility (EMC) - Generic standards. Immunity for industrial environments
EN IEC 61000-6-4 : 2019	Electromagnetic compatibility (EMC) - Generic standards. Emission standard for industrial environments
ISO 21940-1 : 2019	機械振動 - ローターのバランシング

技術資料の作成を許可された法人
 およびイギリスにおける正式な輸入事業者
 （製造者がイギリスに所在しない場合）：

Busch GVT Ltd
 Westmere Drive, Crewe Business Park
 Crewe, Cheshire - UK

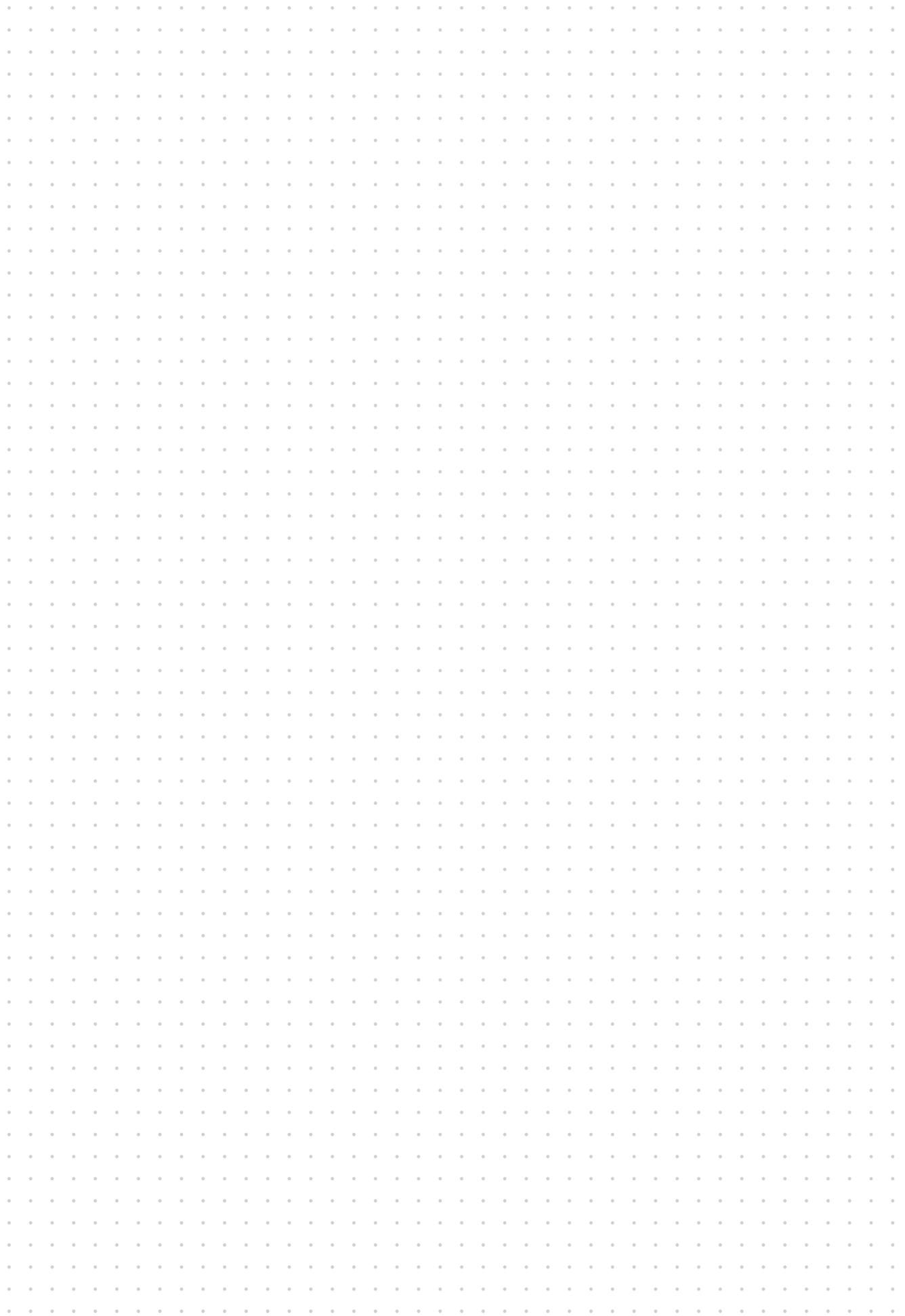
Crewe, 16.04.2021

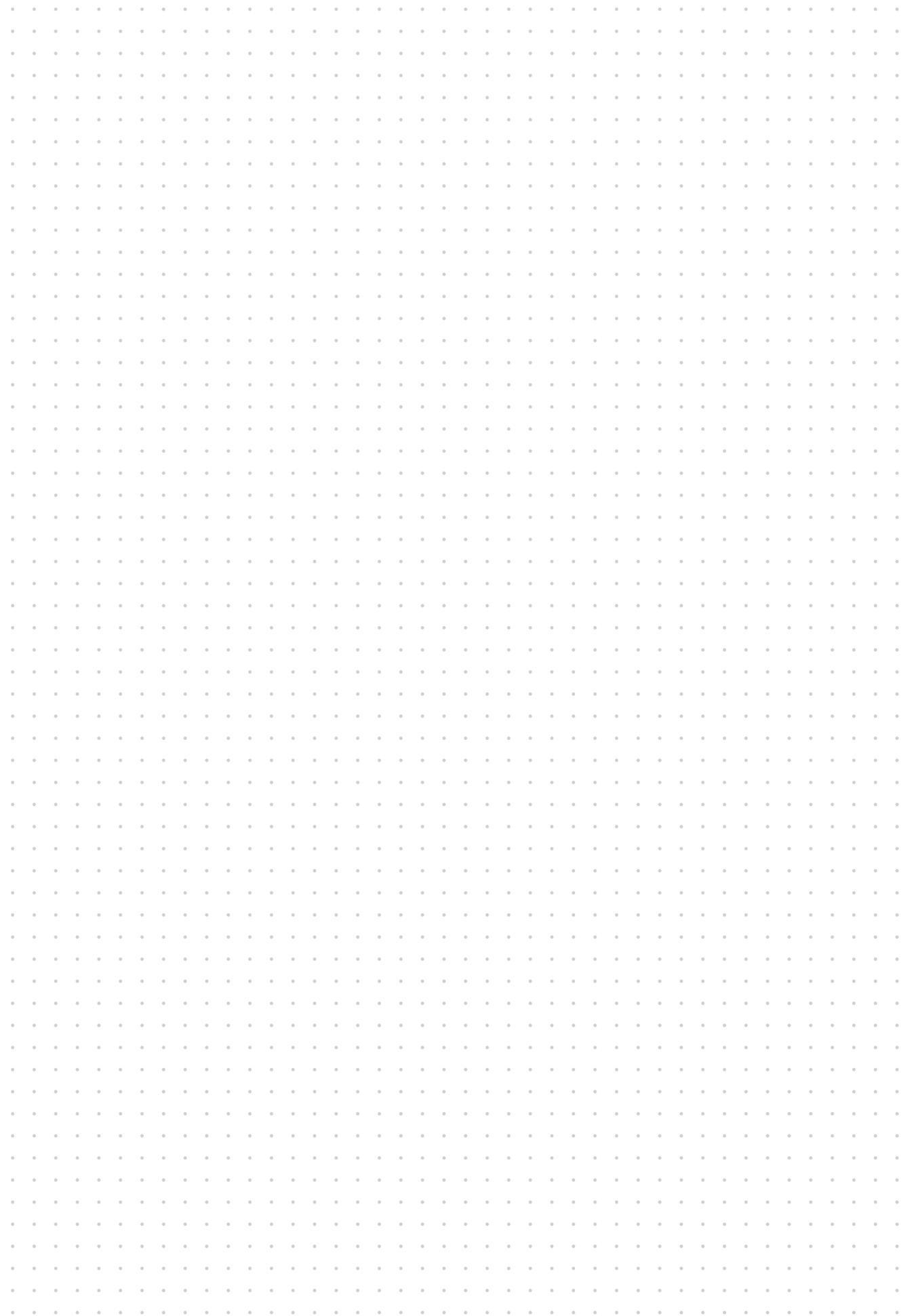


ゼネラルディレクター、Tracey Sellars

メモ

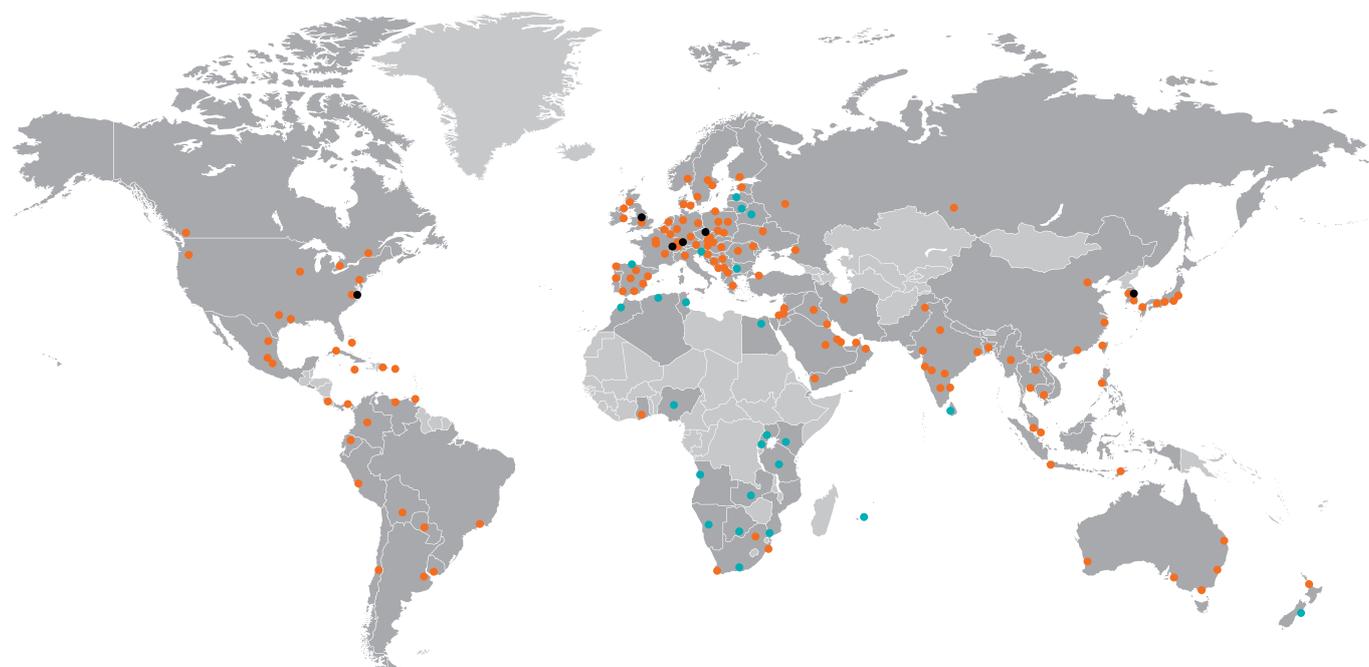
A large grid of small dots for taking notes, consisting of approximately 30 columns and 40 rows of dots.





Busch Vacuum Solutions

Buschは、40を超える国々に60社以上の現地法人を配し、ワールドワイドに展開するグローバル企業です。優れた技能を持つ現地スタッフが、専門技術者のグローバルネットワークを活用し、各国のお客様に合わせたサポートを提供します。どこでも。どのようなご用件でも。お力になります。



● Busch現地法人および支店 ● 代理店および販売会社 ● Busch製造拠点

www.buschvacuum.com